

コード No. 18671

**Anti-Human
 α Synuclein (S122) Rabbit IgG Affinity Purify**

容量 : 100 μ g

はじめに : α -Synuclein は、レビー小体 (Lewy body) の主要構成タンパク質の一つで、いわゆるびまん性レビー小体病とよばれる変性型痴呆疾患の研究に有用です。

免疫抗原 : Human α -Synuclein の C 端部分合成ペプチド (DNEAYEMPSEEGYQDY)

精製方法 : 抗原ペプチドによる特異精製

免疫動物 : ウサギ

包装形態 : 1% BSA, 0.05% NaN₃ 含有 PBS 1.0 ml に溶解したものを凍結乾燥

再生方法 : 蒸留水 1.0 ml 添加

保存方法及び : 2 ~ 8 °C 保存 5 年間安定

安定性 : 溶解後 -20 °C 保存 2 年間安定

使用目的及び : 免疫組織染色 2 μ g/ml にて使用可能
使用方法 (ホルマリン固定・パラフィン包埋切片, マイクロウェーブ処理が必要 (10mM クエン酸緩衝液 pH6.0))
: ウェスタン・ブロッティング 0.5~2 μ g/ml にて使用可能

特異性 : ウェスタン・ブロッティングにて確認。

交差性 : ラット・マウスと交差します。

参考文献 : Ueda K. et. al. Molecular cloning of cDNA encoding an unrecognized component of amyloid in Alzheimer disease. *Proc. Natl. Acad. Sci. U.S.A.* 1993; **90** (23), 11282- 11286

Masliah E. et. al. Dopaminergic loss and inclusion body formation in α - Synuclein mice: implications for neuro- degenerative disorders. *Science* 2000; **287**, 1265-1269